

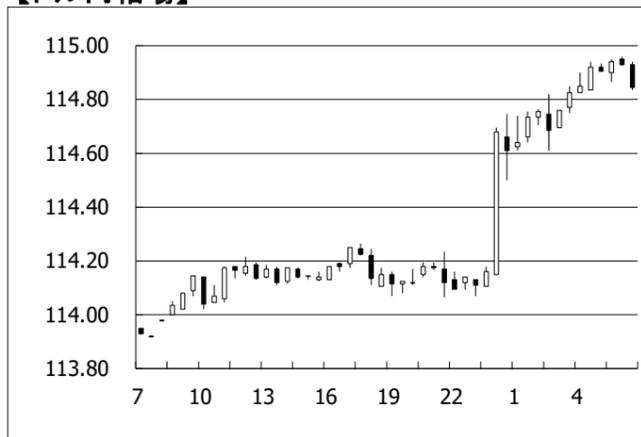
みずほCustomer Desk Report 2021/11/24号(As of 2021/11/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

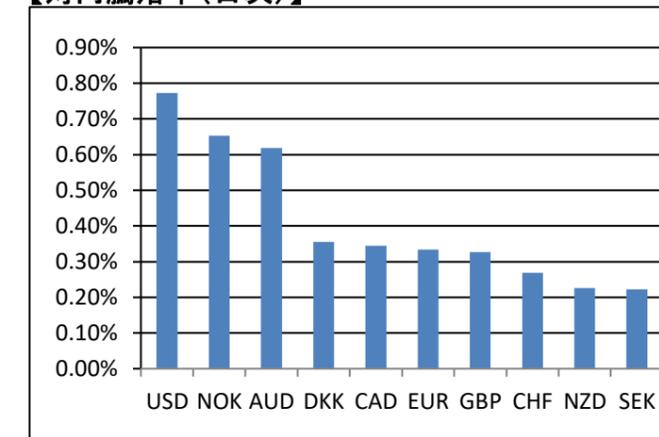
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.12
TKY 9:00AM	114.14	1.1276	128.66	GBP/USD	1.3433
SYD-NY High	114.96	1.1296	129.30	AUD/USD	0.7233
SYD-NY Low	113.92	1.1230	128.57		
NY 5:00 PM	114.87	1.1234	129.06		
NY DOW	35,619.25	17.27	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	15,854.76	▲ 202.68	日本10年債	0.0700	0.00bp
S&P	4,682.94	▲ 15.02	米国2年債	0.5914	7.96bp
日経平均	29,774.11	28.24	米国5年債	1.3226	10.04bp
TOPIX	2,042.82	▲ 1.71	米国10年債	1.6314	8.43bp
シカゴ日経先物	29,685	55	独10年債	-0.2985	4.45bp
ロンドンFT	7,255.46	31.89	英10年債	0.9310	5.35bp
DAX	16,115.69	▲ 44.28	豪10年債	1.8090	▲ 2.40bp
ハンセン指数	24,951.34	▲ 98.63	USDJPY 1M Vol	7.25	0.10%
上海総合	3,582.080	21.71	USDJPY 3M Vol	7.13	0.08%
NY金	1,806.30	▲ 45.30	USDJPY 6M Vol	7.18	0.08%
WTI	76.75	0.81	USDJPY 1M 25RR	-0.25	Yen Call Over
CRB指数	235.26	0.24	EURJPY 3M Vol	7.53	0.31%
ドルインデックス	96.55	0.52	EURJPY 6M Vol	7.80	0.02%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



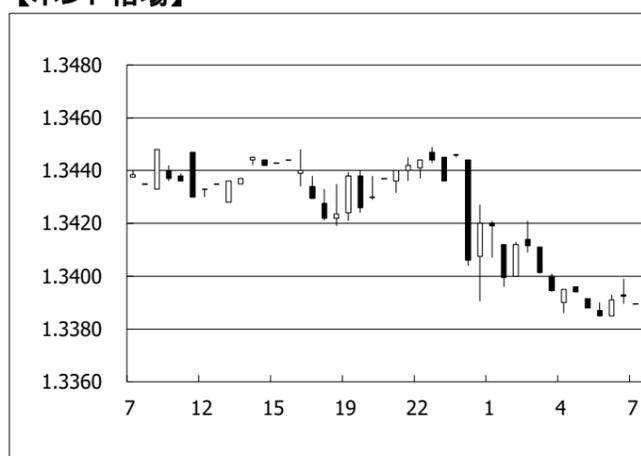
【ユーロ円相場】



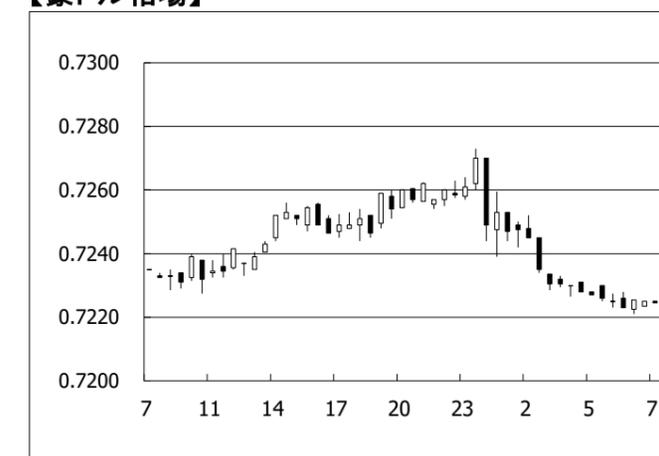
【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



東京	東京時間のドル円は114.14レベルでオープン。本邦祝日を前に積極的な取引は控えられるも、本邦勢実需のドル買いや寄り付き安となった日経平均が下げ幅を縮小する動きにドル円も底堅い展開。114.02-21の小幅レンジで推移した後、114.18レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、114.18レベルでオープン。午後に次期FRB議長人事の発表を控えるなか、方向感が出づらいたり展開となった。約20銭のレンジで横ばいとなり、114.13レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	欧州のコロナ感染者数増加懸念は続くものの、海外市場では主要通貨は狭いレンジでの推移が続くドル円は114.13レベルでNYオープン。朝方は今日次期FRB議長が指名される見込みとのヘッドラインが伝わる中狭いレンジでの推移が続くが、パウエル議長の続投と、ブレインード理事の副議長指名が発表されると、一部でブレインード理事が議長に指名されればハト派なFOMCになるとの見方があったことからドル買いが強まり、一方でこれまでの金融政策の継続を好感した株高を受け、円売りも加わり短期的なレジスタンスと見られていた114.70を抜け114.74まで上昇する。その後は114.50まで下押しする局面もあったものの、米10月中古住宅販売件数が予想を上回り、先物市場における来年5月4日の会合での利上げの織り込み度が77%程度から93%まで上昇したこともあり、午後に入り114.96まで上昇する。しかし先週17日の高値114.97が意識され、115円を上抜けする力はなく、114.87レベルでクロスした。一方、欧州ロックダウン懸念やメルケル独首相のコロナ感染状況がこれまでで最悪との発言が伝わるものの、海外市場のユーロドルは狭いレンジでの推移が続く1.1277レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、FRB次期議長の発表を受けたドル買いが持ち込まれ、1.1236まで下落する。その後一旦ショートカバーが持ち込まれ1.1267まで戻すが米金利が上昇する中1.1230まで下落し、1.1234レベルでクロスした。尚、OPECプラスが石油備蓄を放出するなら計画を調整と減産を示唆する発言が伝わり、その後米国は他国と協調で石油備蓄を放出することを明日にも発表と伝わるがドル円、ユーロドルに与えた影響は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:小林